



8月の園だより

おたんじょうびおめでとう

1日	T・A くん (6歳)
	T・T くん (6歳)
4日	N・K さん (3歳)
18日	S・H くん (3歳)
	O・U くん (2歳)
22日	O・U くん (3歳)
25日	H・K くん (5歳)
27日	F・S くん (2歳)



7月は大雨の日が続き、各地で被害が出るなど、不安な日々が続いていましたが、30日ようやく梅雨が明け、朝からまぶしい日差しとセミの合唱が響き渡り、これまでの不安を吹き飛ばしてくれるようです。

昔から“明けない夜はない”と言われていました。今、世界中の人々がやがて来る春を待つ思いで手を取り合い、この苦難を耐え、その日が来ることを待ちながら過ごしている日々だと思います。この時期だからこそ、ふたば保育園では少しでも楽しい日々にしようと保育計画を立て直しました。まず、コロナウイルスの影響で休みが多いときに、保護者の方々と同じ気持ちでこの時期を乗り越えようと、保護者一人一人と面談をしました。そして3密の世界で、子ども達の感性をどう豊かにしようかと考え、保育の中でより豊かな感性を育てたいと思い、保育計画の中に名曲鑑賞を取り入れました。各クラスや食事のテーブルなど、生活の中に花を飾り、名曲を聞きながらのランチです。ゆったりとした環境の中で名曲に耳を傾けることで、子どもたちもいろいろな曲を覚えて口ずさむことがあるのではないのでしょうか。また、少しでも私たちの願いが子ども達の感性の豊かさになればと願って、今できることはどんなことだろうと考え、プール遊びを計画しました。各クラスから少人数で参加し日程を分けて入るなど、感染予防に十分に配慮しながら、「楽しかった」と子どもたちの心に残る経験になってほしいと思っています。この夏の間、さまざまな経験や体験を通して、保育の3期に向かって広がるに糧になればと思います。

子どもたちのつながり

現在、コロナウイルスの感染予防の為に、朝夕の受け入れを玄関で行っています。保護者の方は、園での様子がなかなか見えずに不安を感じることもあるかと思います。特に3歳未満の子どもたちは、玄関でお家の方と離れることに最初は泣いていましたが、今まで抱っこで登園していた子どもが、自分で歩き笑顔で登園したり、“自分でカバンを持つ！”と言わんばかりの表情でカバンを手に、靴も自分で脱ぎ履きしたりと、お家の方の不安をよそに、たくましい成長を見せてくれています。3歳以上の子どもたちは、2階に上がる年下の友だちを気にかけて、「僕たちが2階に一緒に行っておあげる」と小さな手をぎゅっと握り、ゆっくりと階段を一緒に上がっています。初めは、“自分よりも大きなお兄ちゃんお姉ちゃん”“自分よりも小さなお友だち”にお互いが不安げな表情を見せていましたが、今では、以上児の友だちが迎えに来ると嬉しそうに手を握っています。この状況だからこそ見られる、子ども達の成長や子ども同士のつながりの深まりがあるのだと感じられました。今の生活の中で小さな喜び、楽しさを見つけることが保育士の喜びです。

先の見えない不安もあるかもしれませんが、視線を上げればきっと、小さな幸せ、喜び、楽しさが多く見えてきます。暗いトンネルを抜けた先に明るい道が見えるように、皆さんで上を向いて歩きましょう。



行事予定

3日 (月)	リトミック
11・12日 (火・水)	身体測定
19日 (水)	つどいの会